

**第 30 回大阪大学野田村サテライトセミナー
のだむラジヲセミナー
阪大生と久慈高校生による「のだむラジヲコーナー」の復活**

2015 年 8 月 11 日、大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムのもと開設された「大阪大学野田村サテライト」にて、「第 30 回大阪大学野田村サテライトセミナー」を開催しました。

今回は、本プログラムの授業であるコミュニティ・ラーニング（2015 年 8 月 4 日～8 月 12 日）で訪れた阪大生 6 名と地元久慈高校生 5 名がラジオ放送の形式で野田村の復興状況や魅力について報告しました。

これは、2014 年 12 月から 2015 年 2 月末まで、エフエム岩手エリア限定ラジオとして放送され好評だった『くじなのだ（のだむラジヲコーナー）』の復活、生放送という位置づけで、当該番組のディレクター澁谷雄介さん、メインパーソナリティまつみたくやさんにご協力いただき本格的な番組として実施しました。

地元ゲストとして、野田村歴史の会の吉田照夫さん、三陸鉄道(株)畑田健司さんにご出演いただきました。また、今回も、遠隔教育システムを使用して、大阪大学豊中キャンパスをつなぎ、同時中継でセミナーを行い、大阪大学の教職員や学生とも交流を深めることができました。

「読み聞かせサークルあっぷっぷ」(林[阪大院生])

プログラム履修生の林さんが、あっぷっぷの活動場所である図書館の震災後の再建について、また高校生と共に行っている小学校での読み聞かせについて紹介しました。事前に収録した読み聞かせの音声を流し、臨場感あふれる活動の様子をラジオで再現しました。

「グラシア SAORI」(小泉[阪大院生])

プログラム履修生の小泉さんが、地域のサークル活動、グラシア SAORI について活動の概要、体験したときの様子を紹介しました。さをりを織る理由、楽しさについて機織りや笑い声といった現場の音とともに、インタビューを収録し放送しました。

「久慈高校活動紹介」(太田・二子・松家 [久慈高校])

演劇部に所属する太田さんと、音楽部に所属する二子さん、松家さんが出演し、久慈高校の概要や生徒会活動や地域ボランティア、部活動などを紹介してくれました。全国大会に出場したマンドリン部の素晴らしい演奏を流しました。

「三陸鉄道」(畑田健司氏[三陸鉄道]・山田[阪大院生])

勤続 31 年のベテラン鉄道マン畑田さんにご出演いただき、震災学習列車に乗り、その語りの魅力に取り付かれ山田さんが三陸鉄道についてお話を伺いました。仕事を通じて一番印象に残っていること、様々な貸切列車の紹介など、三陸鉄道の魅力について語っていただきました。

「歴史の会」(吉田照夫氏[歴史の会]・米田・中野[久慈高校])

歴史の会の吉田さんにスタジオに来ていただき、野田村出身の久慈高校生、米田君と中野さんが野田村の歴史について質問をしました。米田君は野田村の産業について、中野さんは「野田」という地名の由来や江戸時代にあった「野田代官所」について、吉田さんから話を伺いました。

「保育所」(伊藤[阪大院生])

プログラム履修生の伊藤さんが、野田村での保育の様子を、野田村にある 3 つの保育所の先生方と子どもたちの声とともにお伝えしました。子ども達のかわいい声がサテライトに響きました。

「下安家漁業協同組合 島川氏」(岩根[阪大院生])

プログラム履修生の岩根さんが、下安家漁業協同組合の島川の復興への取り組みを紹介しました。岩根さんが島川さんにお話を聴きたいと思ったきっかけ、下安家漁協組合の概要、津波被害からの復興の様子などを紹介しました。

「米田ヤスさん」(陳[阪大院生])

プログラム履修生の陳さんは、産地直売所の「安来」を運営している米田やすさんを紹介しました。米田さんのライフストーリーから米田さんの野田村への想いが伝わる番組となりました。

野田村の今を伝える多彩な 9 番組が放送されました。これらの番組は、イベント時など村内の様々な場所で再放送して活用してく予定です。